

한일 영화관의 여행



コミュニティシネマフェスティバル vol.1

日韓映画館の旅



日本未公開の韓国映画が、
韓国の映画館が、やってくる！



同時開催

1950年代
韓国映画傑作選

旅のはじまりは…大阪と福岡！

シネ・ヌーヴォ
11.15(土)~28(金)

福岡市総合図書館

11.9(日)~16(日) & 11.19(水)~29(土)

主催:コミュニティシネマフェスティバル実行委員会

(シネ・ヌーヴォ/ストレンジャー / 特定非営利活動法人たかさきコミュニティシネマ/ユーススペース/福岡市総合図書館/アテネ・フランセ文化センター/一般社団法人コミュニティシネマセンター)

共催:韓国芸術映画協会 KOREA ARTHOUSE CINEMA ASSOCIATION 助成:芸術文化振興基金助成事業/韓国映画振興委員会 Korean Film Council (KOFIC)

作品提供:Atrnine Film Co., Ltd. / Bori & Odi Film / Indiestory / mediaharu / TIGER STUDIO SANAI PICTURES 協力:アウラ(日本語字幕作成)/広島市映像文化ライブラリー

関連企画「1950年代韓国映画傑作選」作品提供・協力:韓国映像資料院 The Korean Film Archive (KOFA)

<http://jc3.jp/ccfes/>



コミュニティ シネマ フェスティバル

Community Cinema Festival

「コミュニティシネマフェスティバル」は、公共的な上映の場、コミュニティシネマとしてのミニシアターやシネマテークの魅力や重要性を広く伝えるため、全国各地のコミュニティシネマが共同で開催する“映画祭”です。ミニシアターのような“アートハウス”と呼ばれる映画館は世界各国にあります。韓国のアートハウス、「芸術映画館（アートシネマ）」と日本のミニシアター、コミュニティシネマは2018年以降、様々な形で交流してきました。記念すべき第1回のコミュニティシネマフェスティバルは、“日韓映画館の旅”というテーマで、互いの国でまだ公開されていない作品を軸に上映作品を選びました。日韓交流60年という節目の年、日韓の上映者が共同で“映画館の旅”をお届けします！

日韓映画館の旅 한일 영화관의 여행

日本未公開の韓国インディペンデント映画 韓国芸術映画館協会受賞作品

韓国芸術映画館協会賞受賞作品… 韓国全国にある芸術映画館（アートシネマ）14館が加盟する韓国芸術映画館協会は、2023年に「韓国芸術映画館協会賞」を創設しました。前年に公開された内外の作品から優れた作品や団体、監督等に授賞しています。今回は2023～2025年に「韓国（国内）映画賞」を受賞した3作品を上映します。

成績表のキム・ミンヨン 성적표의 김민영

Kim Min-young of the Report Card

●第1回（2023）受賞作品
2022年／96分／監督：イ・ジェウン、イム・ジンソン
高校の寮で「三行詩クラブ」を結成したミンヨンとジョンヒ、スザンナ。高校卒業後、異なる道を選んだ三人の気持ちはすれ違う。ミンヨンにソウルの自宅に招かれたジョンヒは喜んでソウルに向かうが、ミンヨンは大学の成績表のことで頭がいっぱい。二人は「あの頃」に戻れるだろうか。
イ・ジェウン、イム・ジンソン、ふたりの監督の初の長編作品。第22回全州国際映画祭、第23回ソウル国際女性映画祭の韓国映画部門でグランプリを受賞するなど、内外の映画祭で高い評価を得ている。



韓国「アートナイン」副代表ジュヒさんが韓国のアートシネマ（ミニシアター）の最新情報を紹介。『成績表のキム・ミンヨン』の監督おふたりと小田香監督、ジュヒさんのトークとQ&A！

監督来日！



イ・ジェウン監督

監督来日！



イム・ジンソン監督

ゲスト来日！



ジュヒさん

Message
この映画を通して、観客の皆さんが自分の忘れていたジョンヒとミンヨンを思い出し、彼らと繋がりたいと思ってくださると嬉しいです。

韓国公開時に制作されたバッジやカード、ミニポスターなどをプレゼントします！
詳細は、上映館のウェブサイト、公式SNSでお知らせします。



ロンリー・アイランド 절해고도

A Lonely Island in the Distant Sea

●第2回（2024）受賞作品
2023年／110分／監督：キム・ミヨン
40代のユンチョル。かつては彫刻家を志していたが、現在は離婚して内装施工業者として一人暮らしている。高校生の娘ジナは美術の才能を見せるが学校に馴染めず、突然出家を宣言して山の寺に入る。仕事も恋愛も、家族との関係も思い通りにはいかない。新しい人生を模索するユンチョルはジナの寺に向かう。
イム・グォンテク監督作品の脚本、助監督などをつとめたキム・ミヨン監督作品。釜山国際映画祭で初上映され、2023年には釜山映画評論家賞大賞、韓国女性映画協会最優秀監督賞など数々の賞を受賞、高い評価を受けた。



長孫—家族の季節 장손

House of the Seasons

●第3回（2025）受賞作品
2024年／121分／監督：オ・ジョンミン
夏、大邱（テグ）の田舎で豆腐工場を営むキム家で法事が行われ、三代にわたる家族が集まる。祖父母はソウルで俳優の仕事をしている三代目の長男（長孫）ソンジンに溺愛している。秋、祖母が急逝。祖母の存在によって保たれてきた家族関係が変化し対立が露わになる。冬、祖母の法事で家族が集まった夜、秘されてきた家族の歴史が明かされる。
オ・ジョンミン監督長編第1作。第28回釜山国際映画祭で3つの賞を受賞したのを初め、韓国映画評論家協会賞、韓国映画製作者協会賞新人監督賞等々を受賞、2025年9月には第34回釜日（プイル）映画賞最優秀作品賞を受賞した。



ウォンジュ・アカデミー劇場の記録

무너지지 않는다 Wonju Academy Cinema

2023年／101分／監督：キム・グミン、イ・ミヒュン、チョ・ウンジュ
[市民キム・グミン][アカデミーで出会ったもの][黄色いテント]からなるオムニバス映画。原州（ウォンジュ）市にある1963年に開館した映画館「アカデミー劇場」。映画館としての営業を終えた後も建物は残され、2016年に保存活動が始まり、2021年には市がアカデミー劇場を購入、保存・再生することを決めた。しかし、2023年、ウォンジュ市は突如、この映画館を取り壊し、駐車場とすることを発表する。アカデミー劇場を守るために立ち上がった市民たちの活動の記録。



Mr.キム、映画館へ行く

미스터김, 영화관에 가다 Mr. Kim Goes to the Cinema

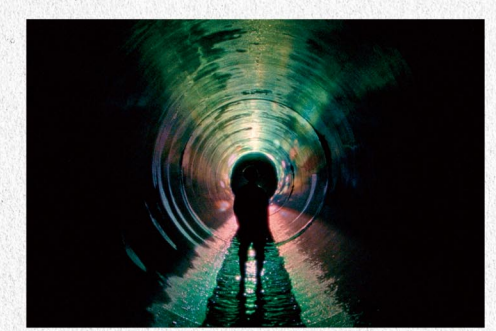
2025年／104分／監督：キム・ドンホ
釜山国際映画祭の創設者のひとりであり、韓国映画界の“レジェンド”として尊敬を集めるキム・ドンホ氏・88歳。コロナ禍の余波が続く2022～2023年、映画館を訪ねる旅に出たドンホ氏は世界各国の映画人に問う、「あなたにとって映画館とは？」。2025年9月第30回釜山国際映画祭でプレミア上映された。キム・ドンホ氏から映画と映画館を愛する人へ届けられた映画の贈り物。



キム・ドンホさんの舞台挨拶とQ&A！
キム・ドンホ監督



日本のインディペンデント映画



Underground アンダーグラウンド

2024年／83分／監督：小田香
ボスニア、メキシコの地下を撮ってきた小田香が、丹念にサーチをもとに日本の地下にカメラを向け、新境地となった最新長編。本作は、東京、大阪、名古屋のミニシアターが「新作を上映したい作家」として小田を指名したことが契機となり制作がスタートした。東京、ベルリン以後、各地の映画祭で驚きをもって迎えられている。



1000年刻みの日時計 牧野村物語

1986年／222分／監督：小川紳介
日本を代表するドキュメンタリストである小川紳介は、山形県の牧野村に移住し、稲を育て、暮らしを営みながら、映画制作を行った。科学映画や劇映画などの手法も駆使し、記録映画の枠を超えた異形の傑作。1987年、本作専用の劇場を京都に建設し、上映活動を行った若者たちが、その後関西のミニシアターの源流を作った。

シネ・ヌーヴォでは、広島市映像文化ライブラリー協力のもと映画美学校／アテネ・フランセ制作室によって制作されたDCPIによる上映。
[併映]京都鬼市場・千年シアター（18分）※シネ・ヌーヴォのみ

関連企画

1950年代 韓国映画傑作選

韓国の国立映画アーカイブである「韓国映像資料院」が創設50周年記念事業として提供する1950年代の韓国映画の傑作7作品を上映します。

作品提供・協力:韓国映像資料院 (KOFA)



ピアコル 피아골 PIAGOL

1955年/109分/監督:イ・ガンチョン(李康天)

険しいピア谷(コル)を本拠地として戦っていたバルチザンの実態を徹底的に取材して脚本が書かれ、海拔2200mの高地で撮影された。政府と軍から支援を受けて製作されたが、バルチザンの苦悩を人間的に描いたことが問題視され、反共論争に巻き込まれた。1954年『アリラン』でデビューしたイ・ガンチョンの代表作。国家登録文化遺産であり、2016年にデジタル復元された。



自由夫人 자유부인 MADAME FREEDOM

1956年/126分/監督:ハン・ヒョンモ(韓滄模)

チョン・ビソクによる新聞小説「自由夫人」の映画化作品。商業的大成功をおさめ、朝鮮戦争後の韓国映画の興隆をリードした。大学教授の妻ソニョンは、洋品店で働き始めたのをきっかけにダンス、社交、恋へと積極的になり、家庭から離れていく。ハン・ヒョンモはメロドラマ、喜劇、ホームドラマと多彩なジャンルを手がけ、50年代韓国映画を代表する監督となる。



洛東江 낙동강 NAKTONG RIVER

1952年/46分/監督:チョン・チャングン

朝鮮戦争期に制作された韓国映画14本の中の1本。完全な形で残された貴重な作品。原作はイ・ウンサン(李雲山)の詩『洛東江』で、「伝統の洛東江」「勝利の洛東江」「希望の洛東江」の三章からなる。詩情あふれる映像と朝鮮戦争の記録映像を合わせたセミ・ドキュメンタリー。2024年、国家登録文化遺産に登録された。



未亡人 미망인 THE WIDOW

1955年/76分/監督:パク・ナムオク(朴南玉)

韓国映画初の女性監督パク・ナムオクの唯一の作品である。朝鮮戦争で夫を亡くし、ひとりで娘を育てる未亡人イ・ミンジャを主人公に、女性の性的欲望と母性との葛藤を繊細に捉えている。夫が脚本を担当、姉の資金提供を得て、ナムオク監督は赤ん坊を抱えながら本作を撮った。最終巻が失われており、ラスト10分の音声欠落している。



地獄花 지옥화 THE FLOWER IN HELL

1958年/88分/監督:シン・サンオク(申相玉)

50～60年代の韓国映画の巨匠・シン・サンオクの初期代表作。朝鮮戦争後、焼け跡が残り、米軍が駐留するソウルへ兄を探しに田舎から出てきたトンシクは、米軍物資の窃盗団の親分になっていた兄ヨンシクと再会。米兵相手の娼婦らとも親しくなっていく。農村と米軍基地村、聖と穢れ、兄と弟等の対比を活かしながら、朝鮮戦争後の社会を描き出す。崔銀姫(チェ・ウニ)が兄弟を操る悪女の娼婦を演じ、圧倒的な存在感を示す。



嫁入りの日 시집가는 날 WEDDING DAY

1956年/80分/監督:イ・ビョンイル(李炳逸)

オ・ヨンジン(呉泳鎭)の戯曲「孟進士の慶事」の映画化作品。孟進士(進士は朝鮮時代の下級役人の役職)の一人娘カッピンは、金判書(高級官吏)の息子ミオンと婚約したが、彼の足が不自由だという噂が流れ…。韓国映画として初めて国際映画祭(第4回アジア映画祭)で受賞、韓国映画が国際的に評価される契機となった。



お金 돈 MONEY

1958年/124分/監督:キム・ソドン(金蘇東)

ソン・ギヒョン(孫基鉉)の小説を、金蘇東が製作・脚本・監督を手掛けて映画化した。朝鮮戦争が休戦となり、純朴な農民ボンスの息子が故郷に戻ってきた。ボンスは子どもたちの結婚費用や借金の返済のため、高利貸に米を売るが、巧妙な詐欺師たちに金をだまし取られてしまう。貧しさゆえに破壊していく農民たちの姿を克明なリアリズムで描き出す。大女優チェ・ウニがボンスの娘スニを演じている。

ゲスト来日!

福岡市総合図書館では、『洛東江』上映にあわせて韓国映像資料院のパク・セホさんによる作品紹介、オ・ソンチさん(韓国映像資料院キュレーター)による講演があります。

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ —福岡—

11/9 [日] 日韓映画館の旅 ▶ 11.9(日)~11.16(日)

11:00 Underground アンダーグラウンド(83分)
14:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語(222分)

11/12 [水]

10:00 長孫 家族の季節(121分)

11/13 [木]

11:00 成績表のキム・ミンヨン(96分)
14:00 ロンリー・アイランド(110分)

11/14 [金]

11:00 Underground アンダーグラウンド(83分)
14:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語(222分)

11/15 [土]

11:00 ロンリー・アイランド(110分)
14:00 ウォンジュ アカデミー劇場の記録(101分)
17:00 長孫 家族の季節(121分)

11/16 [日]

11:00 Mr.キム、映画館へ行く(104分)
★キム・ドンホ監督 舞台挨拶 + Q&A
14:00 成績表のキム・ミンヨン(96分)
★トークイベント
イ・ジェウン監督、イム・ジソン監督 + 小田香(映画作家)、
ジュヒ(「アートナイン」副代表)

11/19 [水] 1950年代 韓国映画傑作選 ▶ 11.19(水)~11.29(土)

14:00 ピアコル(109分)

11/20 [木]

11:00 洛東江(46分)
14:00 お金(124分)

11/21 [金]

11:00 未亡人(76分)
14:00 嫁入りの日(80分)

11/22 [土]

11:00 地獄花(88分)
14:00 洛東江(46分) ★作品解説 バク・セホ(韓国映像資料院)
★講演 オ・ソンチ(韓国映像資料院)

11/23 [日・祝]

11:00 未亡人(76分)
14:00 自由夫人(126分)

11/24 [月・振休]

11:00 嫁入りの日(80分)
14:00 ピアコル(109分)

11/27 [木]

14:00 自由夫人(126分)

11/28 [金]

14:00 地獄花(88分)

11/29 [土]

14:00 お金(124分)

イベント!

11/16[日]『Mr.キム、映画館へ行く』上映時
キム・ドンホさんの舞台挨拶とQ&A

11/16[日]『成績表のキム・ミンヨン』上映時
トークイベント

韓国「アートナイン」副代表ジュヒさんが韓国のアートシネマ(ミニシアター)の最新情報を紹介。
『成績表のキム・ミンヨン』の監督おふたりと小田香監督、ジュヒさんのトークとQ&A!

11/22[土]『洛東江』
作品解説と講演会

韓国映像資料院のバク・セホさんによる作品紹介、
オ・ソンチさん(韓国映像資料院キュレーター)による講演があります。

チケット

- 一般 1400円
 - 学生
 - 福岡市在住の65歳以上の方
 - 「わたすクラブ」会員
 - 障がい者の方
および介護者の方1名 700円
(要証明書・会員証原本提示)
- 当日券のみ | 各回上映の1時間前から販売
自由席(242席+車いす席4席)

会場

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

〒814-0001
福岡市早良区百道浜3-7-1
TEL 092-852-0600
www.cinela.com



11/15 [土]

2025.11.15(土)~11.28(金)

12:30 Mr.キム、映画館へ行く(104分)

★キム・ドンホ監督 舞台挨拶 + Q&A

15:00 Underground アンダーグラウンド(83分)

16:50 成績表のキム・ミンヨン(96分)

★トークイベント

イ・ジェウン監督、イム・ジソン監督 + 小田香(映画作家)、
ジュヒ(「アートナイン」副代表)

19:40 長孫 家族の季節(121分)

11/16 [日]

10:00 ロンリー・アイランド(110分)

12:10 長孫 家族の季節(121分)

11/17 [月]

10:00 長孫 家族の季節(121分)

12:20 ロンリー・アイランド(110分)

11/18 [火]

10:00 ロンリー・アイランド(110分)

12:10 成績表のキム・ミンヨン(96分)

11/19 [水]

10:00 ウォンジュ・アカデミー劇場の記録(101分)

12:00 Underground アンダーグラウンド(83分)

11/20 [木]

10:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語(222分)

[併映]京都鬼市場・千年シアター(18分)

11/21 [金]

10:00 未亡人(76分)

11:40 成績表のキム・ミンヨン(96分)

11/22 [土]

10:00 Mr.キム、映画館へ行く(104分)

12:00 ウォンジュ・アカデミー劇場の記録(101分)

11/23 [日・祝]

10:00 洛東江(46分)

11:10 嫁入りの日(80分)

11/24 [月・振休]

10:00 ピアコル(109分)

12:10 自由夫人(126分)

11/25 [火]

10:00 地獄花(88分)

11:50 未亡人(76分)

11/26 [水]

10:00 嫁入りの日(80分)

11:40 地獄花(88分)

11/27 [木]

10:00 自由夫人(126分)

12:30 お金(124分)

11/28 [金]

10:00 1000年刻みの日時計 牧野村物語(222分)

[併映]京都鬼市場・千年シアター(18分)

イベント!

11/15[土]『Mr.キム、映画館へ行く』上映時
キム・ドンホさんの舞台挨拶とQ&A

司会は、大阪アジア映画祭創設時にキム・ドンホさんに助言を受けたという、シネ・ヌーヴォーの創設者・景山理さん。

11/15[土]『成績表のキム・ミンヨン』上映時
トークイベント

韓国「アートナイン」副代表ジュヒさんが韓国のアートシネマ(ミニシアター)の最新情報を紹介。
『成績表のキム・ミンヨン』の監督おふたりと小田香監督、ジュヒさんのトークとQ&A!

チケット

●一般1600円 ●シニア1300円
●会員1200円 ●学生1200円

回数券・招待券使用不可

全席指定・各回入替制

チケットは、劇場HP(オンライン)、窓口共に
ご鑑賞日の7日前から販売します。

※詳細は劇場ウェブサイトでご確認ください。

会場

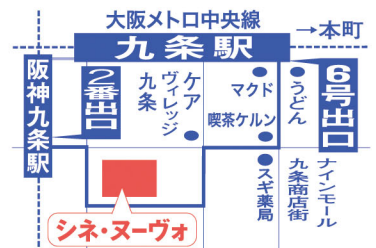
シネ・ヌーヴォー

〒550-0027 大阪市西区九条1-20-24

TEL 06-6582-1416

www.cinenouveau.com

大阪メトロ中央線、阪神なんば線「九条駅」徒歩3分



東京・高崎開催、日程決定!!

第2期:東京と高崎

ユーロスペース(東京都渋谷区)

2026年2月28日[土]~3月6日[金]

ストレンジャー(東京都墨田区)

2026年2月27日[金]~3月12日[木]

シネマテークたかさき(高崎電気館)※高崎映画祭

2026年3月13日[金]~3月22日[日]

アテネ・フランセ文化センター

2026年2月12日[木]~2月21日[土]

※関連企画「1950年代韓国映画傑作選」